

©Koji Mizutani



「Merry in New York」展／～2月23日／六本木ヒルズインフォメーションセンター THINK ZONE／18時30分～翌1時●また、カフェ〈LIBRARY CAFE te〉と書店〈ABC bis〉にて2月22日まで関連イベント開催予定。11時～22時。日曜休。 <http://www.66ic.com>

## exhibition

アートは剣よりも強し!? 『Merry in New York』展開催。

和田京子/Kyoko Wada ●編集者

カメラ付き携帯電話で、いつでもどこでも声と同じように互いの表情を交換できる今日この頃。遅刻の言い訳も相手の表情を見れば許してしまうというもの。言葉よりも伝わる、なんて宣伝文句もあながち侮れない。人の表情、とりわけ笑顔は最大の武器なのだ。

アートディレクター水谷孝次が1999年から敢行してきたプロジェクト「Merry」も、見るものに訴えかける笑顔の力を存分に発揮している。「あなたにとってMerryとは何ですか？」と東京とロンドン、そして震災後の神戸の街角で問いかけ、人々の笑顔と手書きの

メッセージをポスターにして街中に貼ったり、写真集にまとめて話題を呼んできた。そんな水谷が今回向かった先は、テロ事件から1年後のニューヨーク。収録した400人もの女の子たちのピースフルな笑顔とメッセージによる展覧会が六本木で開催されている。

テロ直後、「NYタイムズ」紙の1面広告を飾ったジョン・レノンの「イマジン」のフレーズは反戦を唱えたオノ・ヨーコらしいパフォーマンスだったが、この水谷による「Merry in New York」展も不穏なご時世を一掃してしまう平和なメッセージが託されているのだ。